

1. 本時の位置付け

本時は、中学校学習指導要領(平成 29 年告示)及び同解説【社会編】に記載されている以下の一部の内容と関連します。

展開①	<p>【お金の使い方】 家計管理と金融トラブル</p> <p><u>社会科【公民的分野】</u> B(1)ア (ア) 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解すること。 <解説> ・経済活動が、一般的に人々の求める財やサービスを生産し、これらを消費することで生活を成り立たせている人間の活動であり、生徒の身近な経済生活である消費を中心に理解できるようにすること。</p>
展開②	<p>【貯める・備える・借りる】 資産形成 保険とローンの仕組み</p> <p><u>社会科【公民的分野】</u> B(1)ア (ウ) 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解すること。 <解説> ・家計の貯蓄などが企業の生産活動や社会に必要な様々な形態の起業のための資金、人々の生活の資金などとして円滑に循環するために、金融機関が仲介する間接金融等、株式や債券などを発行して直接資金を集める直接金融を扱い、金融の仕組みや働きを理解できるようにすること。 B(2)ア (ア) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。 <解説> ・貯蓄や民間の保険などにも触れ、社会保障の充実・安定化のためには、自助、共助及び公助が最も適切に組み合わされるよう留意することが求められていることについても理解できるようにすること。</p>

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類 1 家計管理」、「分類 2 生活設計」、「分類 3 金融取引の基本としての素養」、「分類 4 金融分野共通」、「分類 5 保険商品」、「分類 6 ローン・クレジット」、「分類 7 資産形成商品」、の学習を含んでいます。

2. 本時の目標

- 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の金融の仕組みや働きについて理解する。

3. 評価のポイント

- 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の金融の仕組みや働きについて理解している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
導入 5分	お金の管理方法について見通しをもつ。	○前時の学習内容について、隣の人と説明し合う。 ●今日はお金を管理する方法を学ぶことを説明する。	・お金の使い方と契約の2点から説明内容を確認し、前時の契約に関する学習内容と関連付ける。

テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
【貯める・増やす】 資産形成の基本 展開① 20分	<p>お金を貯めたり、増やしたりすることは自分のため？</p> <p>(問)「お金が貯まりやすいのはどっちでしょう？」(#25)</p> <p>●お金を貯めるためにはルールを決めること、社会人になつたら「積立預金や積立投資」などの仕組みがあることについて説明する。(#26～27)</p> <p>○お金を増やすルール「単利と複利」について、100万円を利率5%で運用する場合を計算する。</p> <p>●単利と複利の違いについて説明する。(#28～29)</p> <p>○間接金融と直接金融について知っていることを挙げる。</p> <p>●間接金融・直接金融を説明する。(#35～36)</p> <p>●資産形成と経済活動の関係、社会貢献について説明する。(#37～38)</p> <p>●預貯金と投資、リスクとリターンについて説明する。(#30～34)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前の利益を優先させがちなことは機会費用や希少性の制約下で選択することで生じるトレードオフの考え方についているか確認する。 ・計算ソフトや複利計算サイトなどを活用し、計算自体が目的にならないように留意する。 ・第1時の内容とも関連付けて説明したい。 ・前時の「闇バイト」の注意点を思い出させる。
【備える】 保険の仕組み 展開② 5分	<p>なぜ、保険は生まれたのだろうか？(#39)</p> <p>(問)「実際にある保険はどれ？」に答えよう。(#40)</p> <p>●クイズの解答スライドを用いて、万が一のリスクに備えるという保険の考え方について説明する。(#41)</p> <p>○人生にある「リスク」を考える。(#42)</p> <p>●人生で考えられるリスクに対して保険があることを説明する。(#43～45)</p> <p>●「預貯金は△、保険は□」というキーワードを使って、預貯金と保険の違いについて、説明する。</p> <p>預貯金は少しづつ貯めて、いつでも自由に引き出せるが、万が一のリスクが発生した場合に、リスクに対応できるだけの十分なお金が確保できているとは限らないこと。保険は少しづつ支払い、自由に引き出したりすることはできないが、万が一のリスクが発生した時には予め決めておいた額が受け取れること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでの「リスク」は一般的な意味合いで「危険」であることに留意する。 ・追発問として「お金を貯めておけば解決できるか」や「万が一の時はお金を借りて工面する」ことができるか、といった内容を発問し、保険の役割に気付かせることも有効である。 ・各個別の保険商品について説明することが趣旨ではないため、それぞれのリスクに対応した保険商品があることに触れるにとどめるなど、深入りすることは避ける。

テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開③ 15分	<p>【借りる】 ローン・クレジット</p> <p>ローンやクレジットの仕組みは?(#46)</p> <p>●借入れ(ローン、クレジット)の仕組みについて説明する。(#47~48)</p> <p>●利子・金利について説明する。(#49)</p> <p>●ローンを利用する時の注意点について説明する。(#50)</p> <p>●クレジットカードの仕組み、リボ払いの仕組みについて説明する。(#51~52)</p> <p>(問)返済額はいくらになる?(#53~55)</p> <p>●クレジットカードの注意点、リボ払いの注意点について説明する。(#56)</p> <p>●クレジットカードの支払い方式はいくつかあり、利用時に選択することができること。その1つにリボ払いがあるが、クレジットカードによってリボ払いの利用方法などが異なるため、カードを申し込む段階や利用する時に、その仕組みを理解した上で利用することを説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金利18%で30万円を借りた場合に利子はいくらになるかを計算させる。 ・リボ払いは仕組みが理解しづらいという指摘もある。ここでは商品の説明をすることが趣旨ではないため、深入りすることは避ける。
まとめ 5分	<p>本時の学習内容を振り返り、自分の言葉で説明する。</p> <p>○本時の学習内容を自分でまとめ、仲間に伝える。</p> <p>○本時の学習内容から興味をもったことについて、J-FLECのHPを見てみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・任意の4人班で実施する。まず、個人で学習内容を整理させた上で、その学習内容を他の人に教えるようにする。

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

大人になる前に知っておきたいお金の話② 金融の仕組みと資産管理

年 組 番	名前
-------	----

1. 資産形成について

(1)お金を作るなり、増やしたりするための考え方「仕組み化」と「複利」を使ってまとめよう。

・お金を貯めるには、最初に貯めるお金を取り分けて残ったお金で生活するなどのルールを決めて仕組み化する。
・単利よりも複利の方が、利息に利息が付く分、長期的にはお金を増やすやすい。

(2) #37-38を学んで、適切な資産形成をすることの意義をまとめよう。

・資産形成することは、自分のためになるだけでなく、経済の動きを支えたり、お金の流れをよくしたりする働きがある。
・買い物や投資、寄付などでお金を使うことで、社会をよりよいものにするのに役立つ。
・投資を通じて自分のやりたいことや、豊かな生活を実現させるだけでなく、社会課題の解決やSDGsの達成に貢献できる。など

(3)リスクヒッターの考え方から「闇バイト」を説明してみよう。

・ローリスクでハイリターンの金融商品は存在しない。
・簡単な仕事で多額のお金が稼げるといった説く文句で人を集めると、ローリスクでハイリターンの「うまいバイト」の話は闇バイトの可能性が高いなど

2. なぜ、保険は必要とされるかについて説明してみよう。

・人生には様々なリスクがあるが、自分が使えるお金だけすべてのリスクに備えることは難しい。
・様々なリスクに備えようとすると、使いたいときに使えるお金が非常に限られてしまう。
・多額のお金が必要になり、日々の生活が困難になってしまふなりリスクに備えるため。
→多くの人々が少しづつお金を出し合ってリスクに備える仕組み=保険。

3. ローンやクレジットの特色と注意点を説明してみよう。

・ローンは借りたお金を使いつ返す方法で、クレジットは買い物したときに後でまとめて(一括)、もしくは何回かに分けて(分割)で支払う方法。
・お金を借りて後で返す仕組みなので、「お金を返せるか」の信用が必要。
・どちらも後で返済が必要な借りであり、手数料がかかる。
・計画的に利用しないと返済が困難になってしまうおそれがあること 等

4. 今日の学習で学んだことをまとめよう。

(省略)

6. 参考資料

一般社団法人全国銀行協会「教えて！暮らしと銀行」 <https://www.zenginkyo.or.jp/article/>

一般社団法人生命保険協会「生命保険の基礎知識」 <https://www.seiho.or.jp/data/billboard/introduction/>

一般社団法人日本クレジット協会「クレジットの利用」 <https://www.j-credit.or.jp/customer/basis/use.html>

大人になる前に知っておきたいお金の話② 金融の仕組みと資産管理

年 組 番	名前
-------	----

1. 資産形成について

(1) お金を貯めたり、増やしたりするための考え方を「仕組み化」と「複利」を使ってまとめよう。

J-FLC ④ お金を作る・増やすには?

○ 例えば、お小遣いやお年玉をもらったら、自分でルールを決め、『最初にその一部を貯める』ようにしてみましょう。自分にとって無理のない金額で始めてみると、続々やすくなります。

○ 大人になったら、『投資』などの方法も検討してみましょう。

○ 工夫してお金を貯める・増やすことを『資産形成』といいます。

例えば…

お小遣い 1,000円

必ず100円は最初に貯めるルールを作る

仕組み化

支出は最大900円でやりくり

(2) #37-38を学んで、適切な資産形成をすることの意義をまとめよう。

J-FLC ④ 投資を通じて社会課題の解決に貢献 38

○ 消費や投資・寄付等を通じて、『社会課題の解決やSDGsに貢献する』ことができます。

SDGsとは、「持続可能な世界を実現することを目指して、国連によって採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。

私たち

商品の購入

投資・寄付

SDGsに取り組む企業

⇒ 消費(商品の購入)や投資(投資・株式などの購入)、寄付(クラウドファンディング等による被災地への寄付)等による資金提供を通じて、社会をより良くすることに貢献できます。

(3) リスクとリターンの考え方から「闇バイト」を説明してみよう。

J-FLC ④ リスクとリターンの関係 39

○ 原則、リスク(運用成果の振れ幅)とリターン(運用成果)は比例関係なので、『ローリスク・ハイリターンの金融商品はありません』。

大(高) リターン(運用成果) 小(低)

株式

債券

預貯金

もしローリスク・ハイリターンの金融商品を勧めてくる人がいたら、それは『詐欺』です

※一般的なイメージ図であり、すべての金融商品はまるものではありません。

2. なぜ、保険は必要とされるかについて説明してみよう。

J-FLC ⑤ 生活の中のリスクを理解しよう 42

○ 人生には様々なリスク(危険)が存在します。

○ リスクに対して、『どのように備えればよい』でしょうか。

例えば、

ケガをした

病気になった

家が火事にあった

地震で家が壊れた

交通事故を起こした

人の物を壊してしまった

介護が必要になった

親など家計を支えていた人が亡くなったり

3. ローンやクレジットの特色と注意点を説明してみよう。

J-FLC ⑥ クレジットとは 48

○ クレジットとは、『商品などを買った時点では代金を支払わず、後から支払う約束』のことです。

○ 大半は『クレジットカード』での利用になります。

クレジットの仕組み

利用登録

加盟店

代金支払

クレジット会社

ローンとクレジットは、仕組みは違いますが、どちらも『後で返済(支払い)が必要な借り入れ(借金)』です。

4. 今日の学習で学んだことをまとめよう。